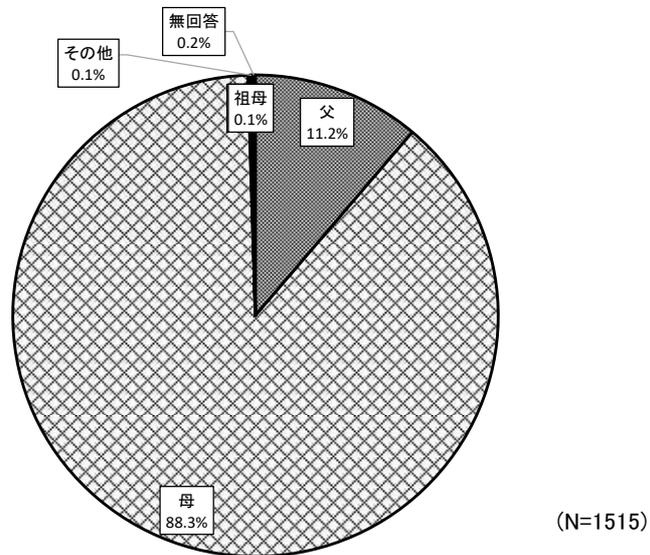


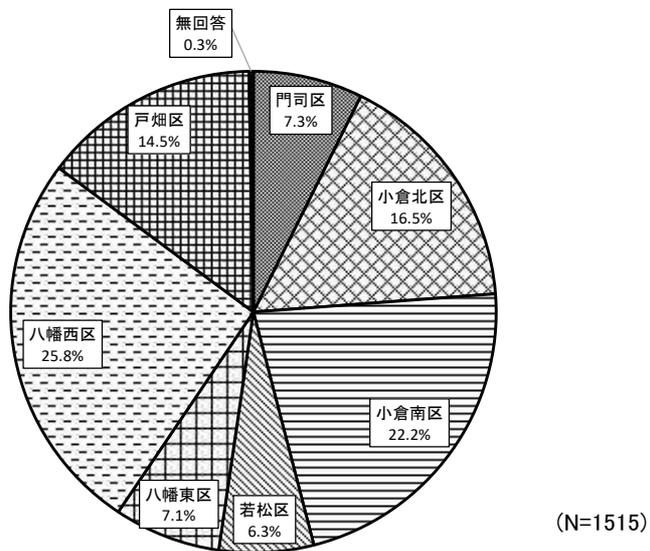
〔就学前児童の保護者(調査票B)〕

1. 子どもと家族の状況等

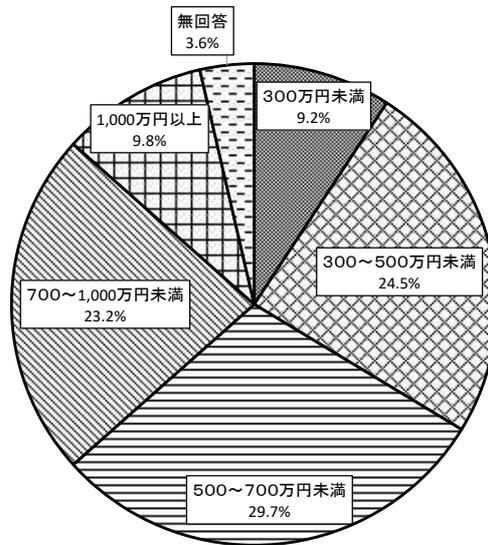
(1) 子どもと回答者の続柄(問 1)



(2) 居住区(問 2)

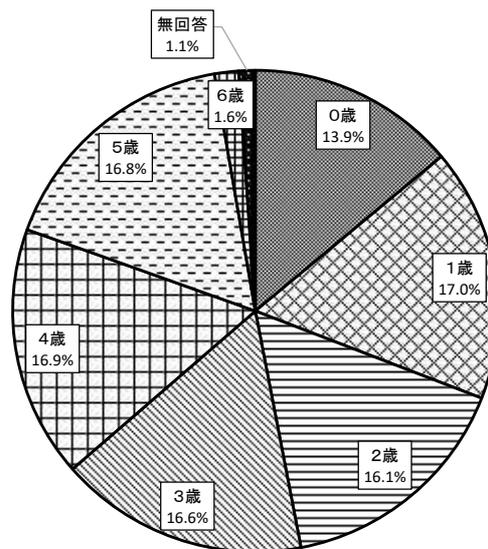


(3) 世帯全体の年収(問 6-1)



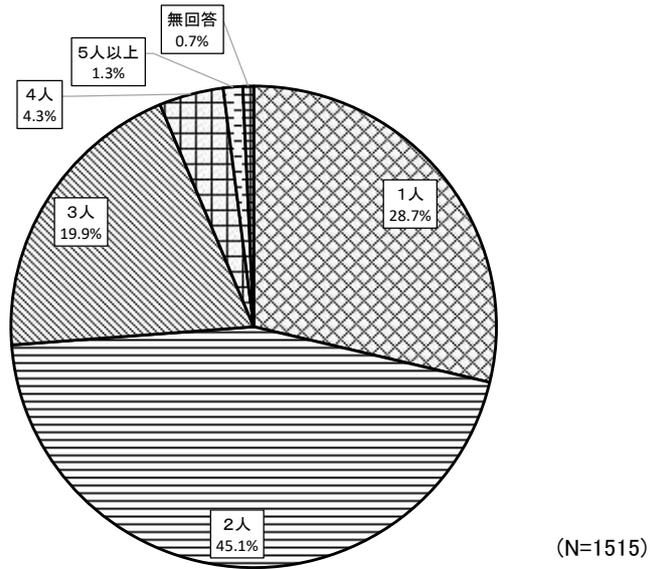
(N=1515)

(4) 子どもの年齢(問 3)

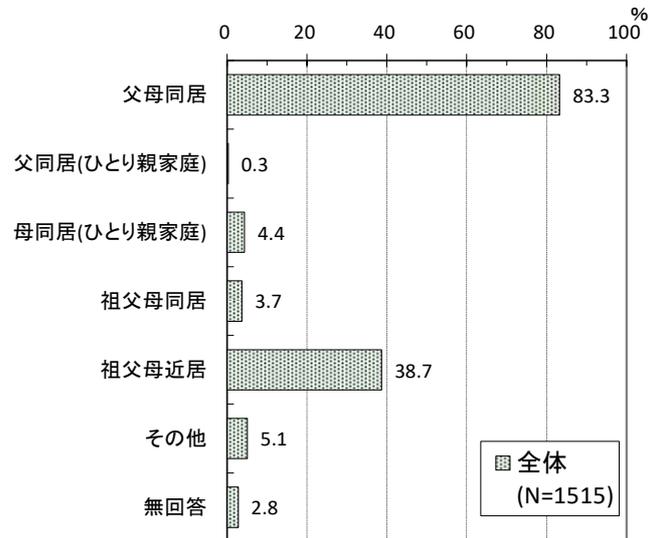


(N=1515)

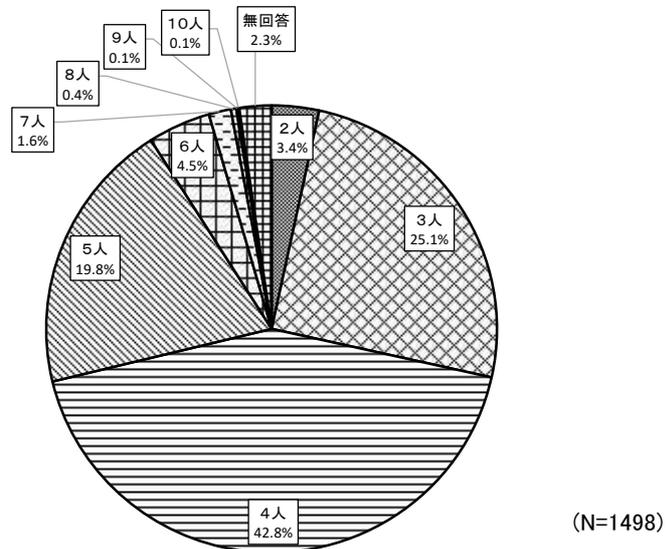
(5) 子どもの人数(問 4)



(6) 同居(近居)の状況(問 5)【複数回答】



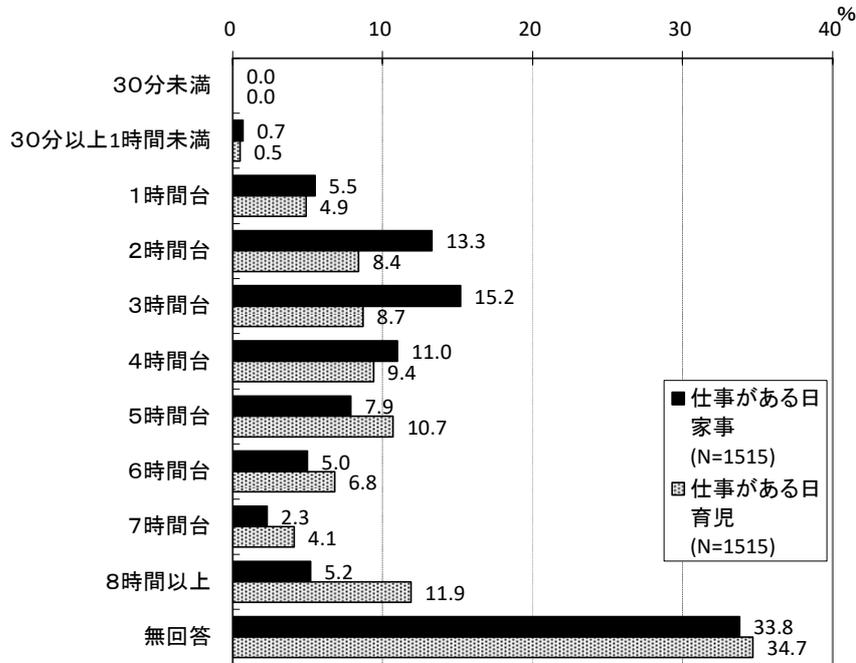
(7) 同居している家族の人数(問 5)



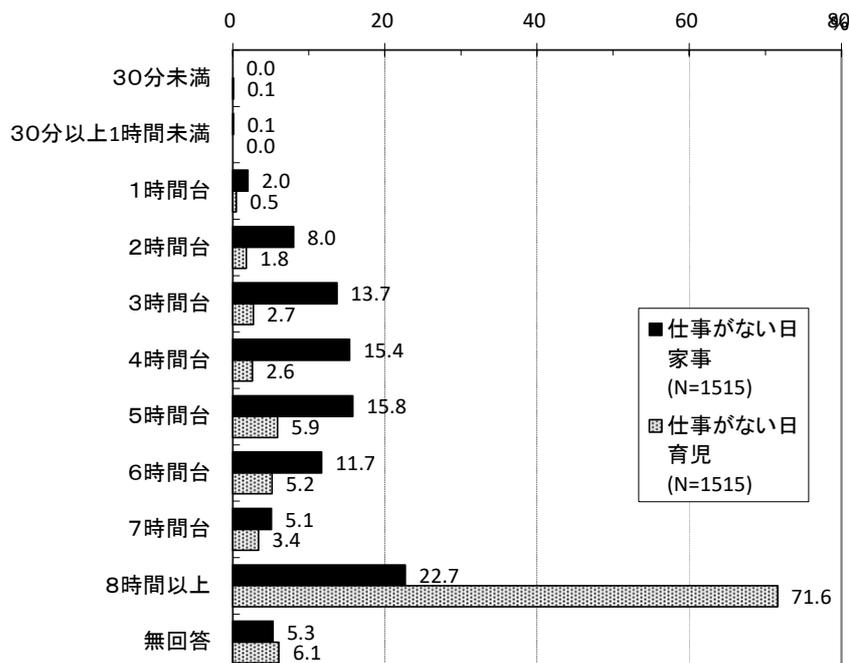
(8) 父母が1日あたりに家事・育児をしている時間(問6)

① 母親

仕事がある日の母親の家事は、「3時間台」が15.2%で最も高く、次いで「2時間台」13.3%、「4時間台」11.0%となっている。育児は、「8時間以上」が11.9%で最も高く、次いで「5時間台」10.7%、「4時間台」9.4%となっている。

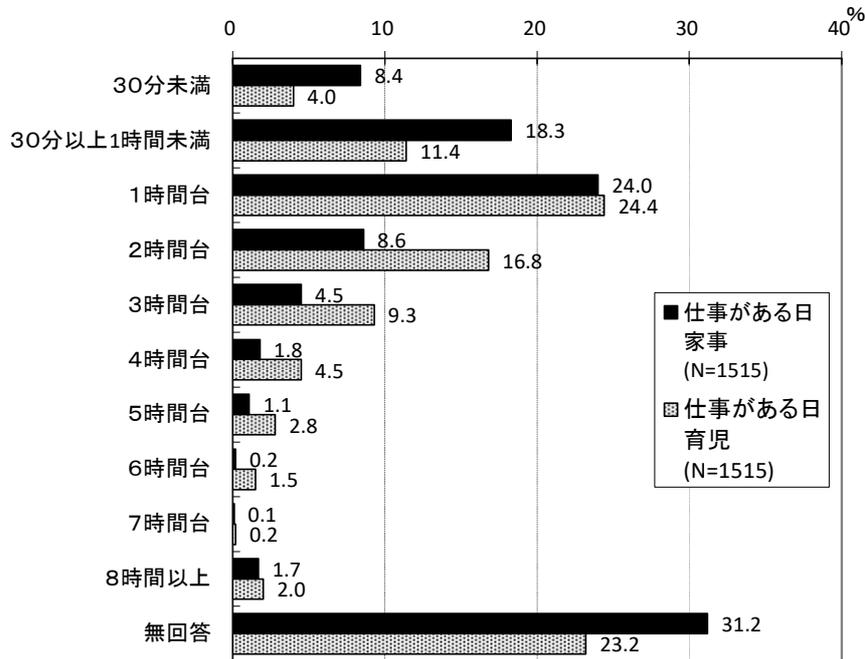


仕事がない日の母親の家事は、「8時間以上」が22.7%で最も高く、次いで「5時間台」15.8%、「4時間台」15.4%となっている。育児は、「8時間以上」が71.6%を占めている。

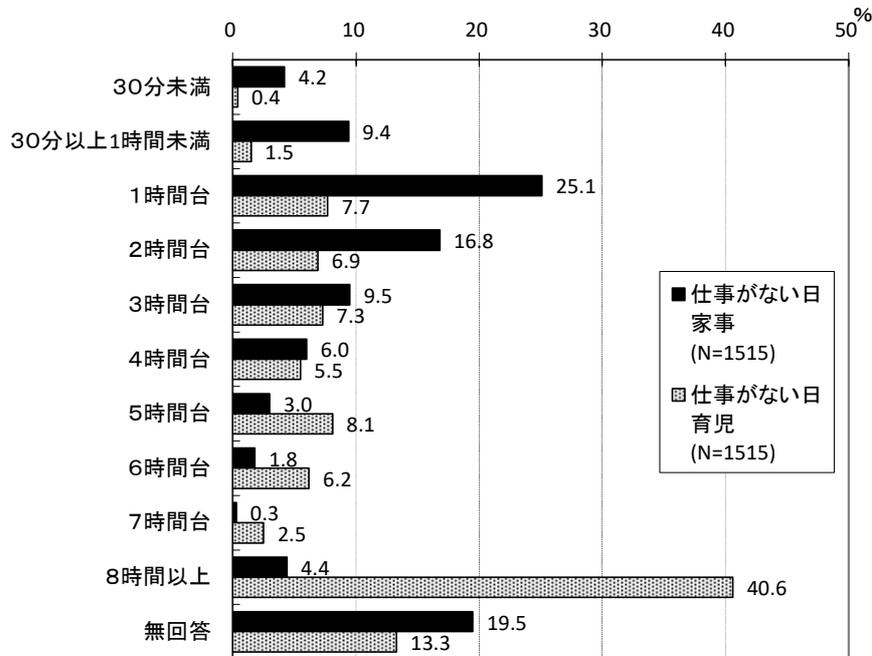


② 父親

仕事がある日の父親の家事は、「1時間台」が 24.0%で最も高く、次いで「30分以上 1 時間未満」18.3%、「2時間台」8.6%となっている。育児は、「1時間台」が 24.4%で最も高く、次いで「2時間台」16.8%、「30分以上1時間未満」11.4%となっている。



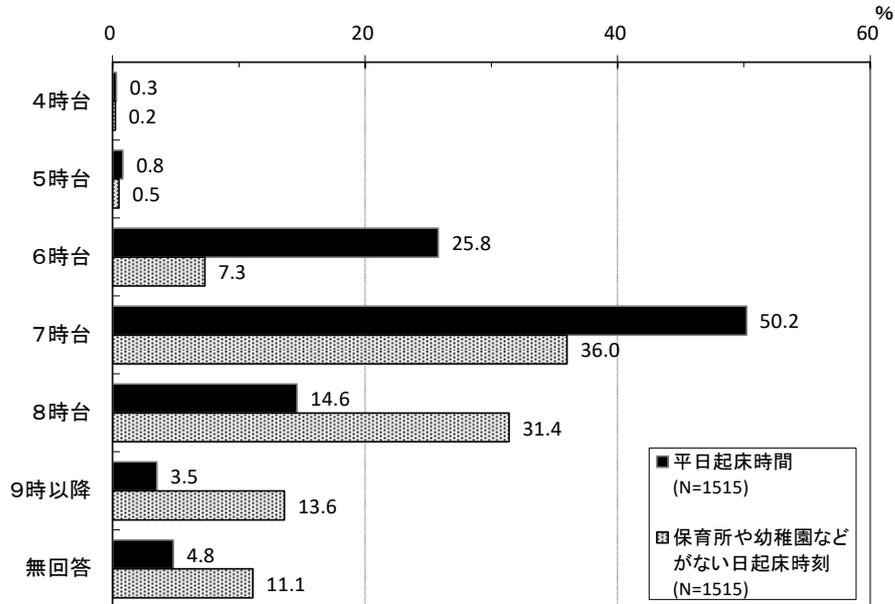
仕事がない日の父親の家事は、「1時間台」が 25.1%で最も高く、次いで「2時間台」16.8%、「3時間台」9.5%となっている。育児は、「8時間以上」が 40.6%を占めている。



2. 子どもの生活状況

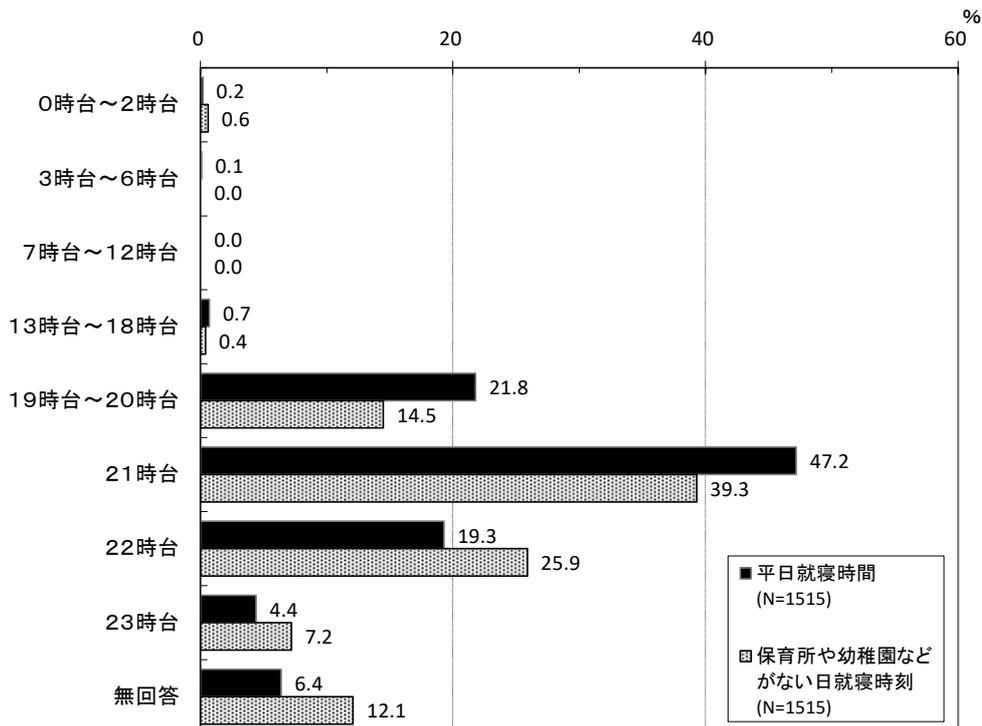
(9) 子どもの起床時刻(問 7)

平日の子どもの起床時刻は「7時台」が 50.2%で最も高く、次いで「6時台」25.8%となっている。また、保育所や幼稚園などが無い日では、「7時台」が 36.0%で最も高く、次いで「8時台」31.4%、「9時以降」13.6%となっている。



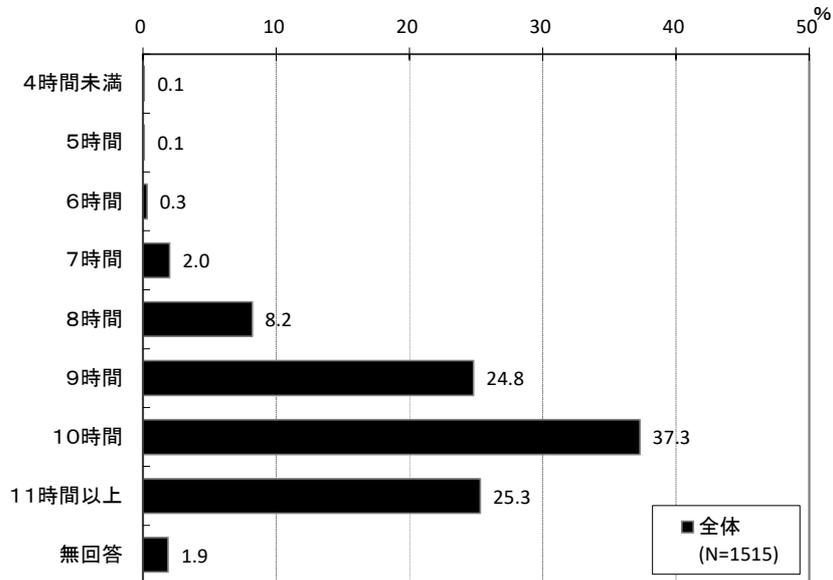
(10) 子どもの就寝時刻(問 7)

平日の子どもの就寝時刻は「21時台」が 47.2%で最も高く、次いで「19時台～20時台」21.8%、「22時台」19.3%となっている。また、翌日に保育園や幼稚園などが無い日は、「21時台」が 39.3%で最も高く、次いで「22時台」25.9%、「19時台～20時台」14.5%となっている。



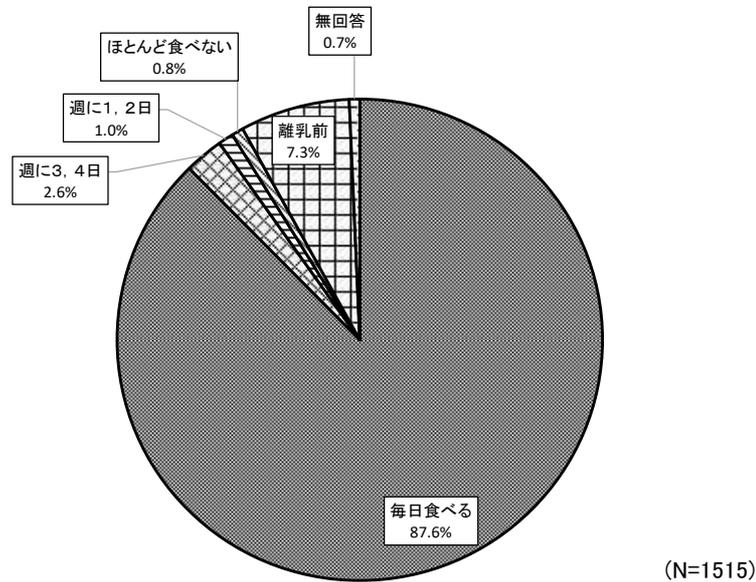
(11) 子どもの平均睡眠時間(問 7)

子どもの平均睡眠時間は、「10時間」が 37.3%で最も高く、次いで「11時間以上」25.3%、「9時間」24.8%となっている。



(12) 一週間の朝食を食べる頻度(問 8)

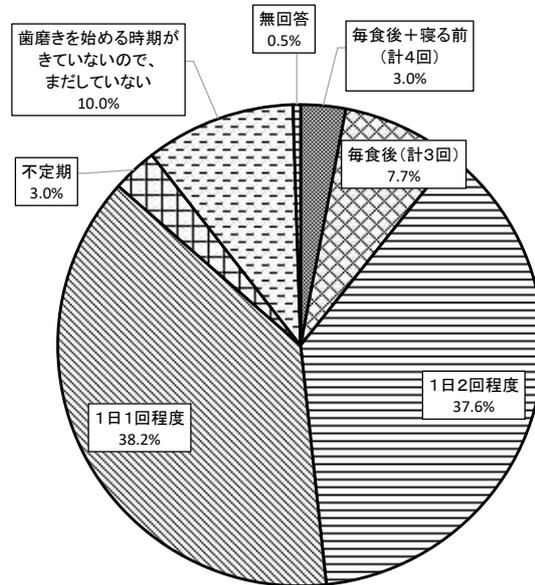
一週間の朝食を食べる頻度は「毎日食べる」が 87.6%で最も高く、次いで「離乳前」7.3%、「週に3、4日」2.6%、「週に1、2日」1.0%となっている。



(13) 一週間の歯磨きの頻度(問 9)

一週間の歯磨きの頻度は「1日1回程度」が 38.2%で最も高く、次いで「1日2回程度」37.6%、「歯磨きを始める時期がきていないので、まだしていない」10.0%となっている。

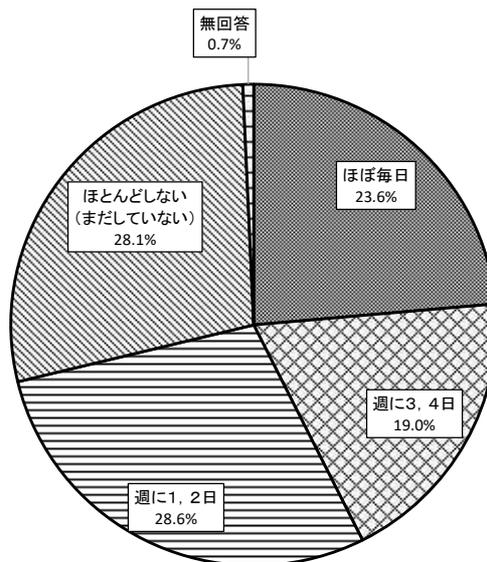
毎食後(3回以上)歯磨きを行っている割合は 10.7%である。



(N=1515)

(14) 絵本の読み聞かせの頻度(問 10)

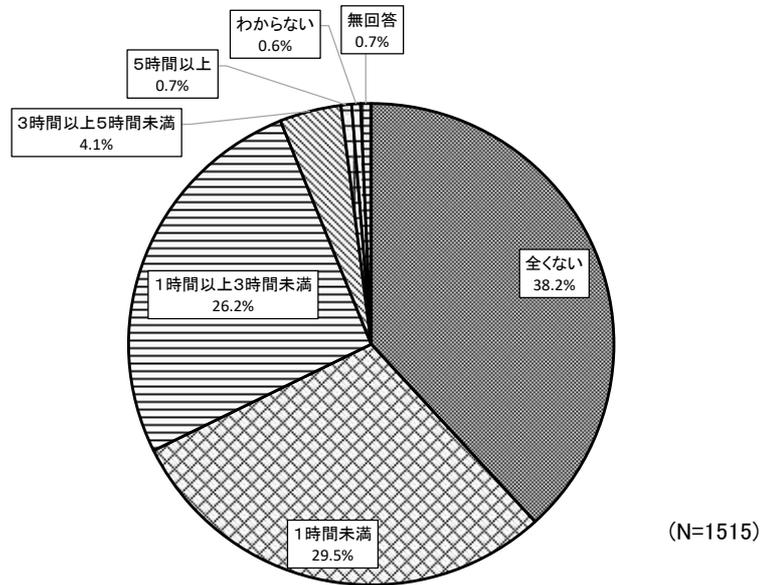
絵本の読み聞かせの頻度は「週に1、2日」が 28.6%で最も高く、次いで「ほとんどしていない(まだしていない)」28.1%、「ほぼ毎日」23.6%となっている。



(N=1515)

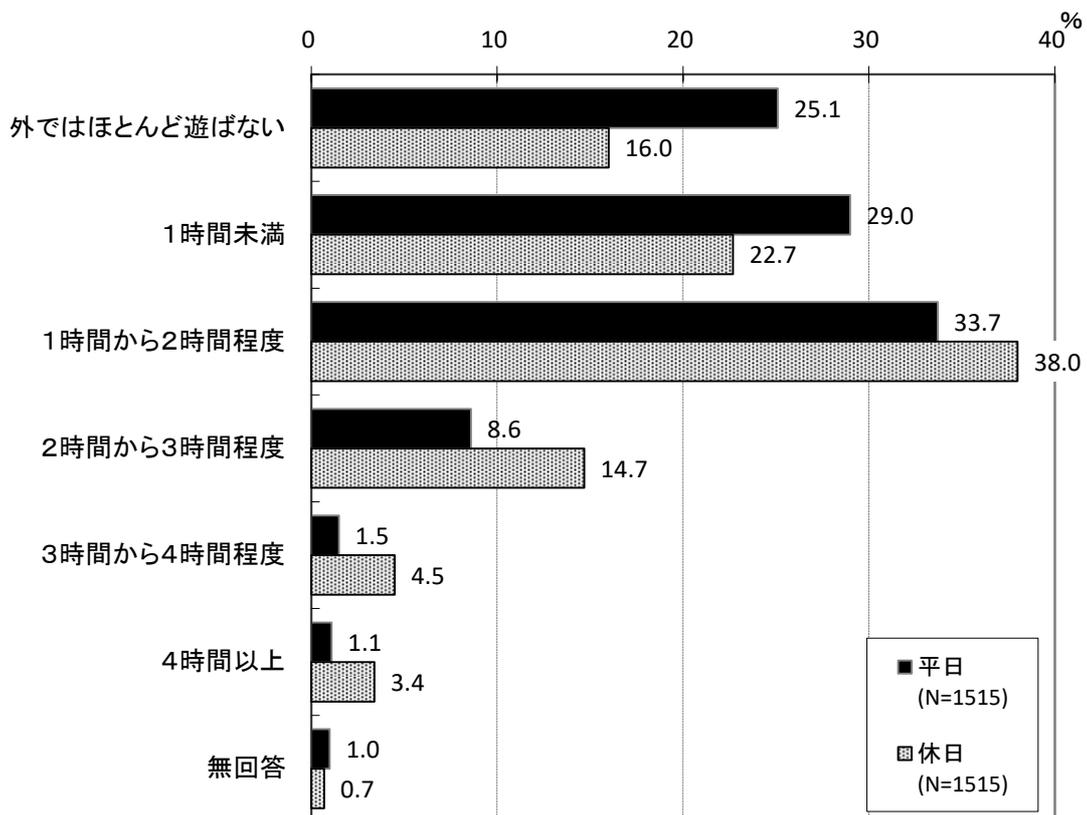
(15) 携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間(問 11)

子どもが1日に携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間は、「全くない」が 38.2%で最も高く、次いで「1時間未満」29.5%、「1時間以上3時間未満」26.2%となっている。



(16) 子どもが屋外で遊ぶ時間(問 12)

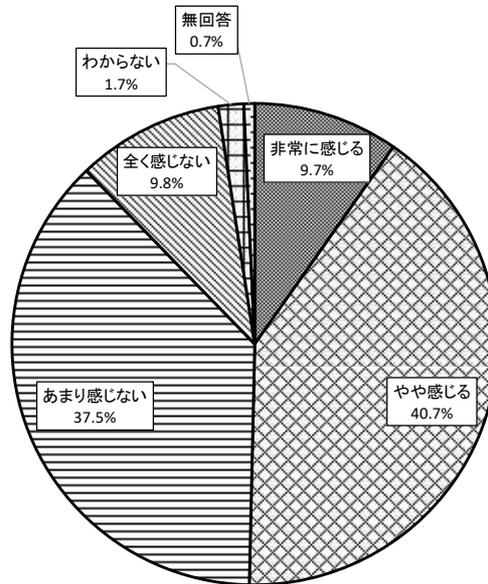
子どもが一日外で遊ぶ時間は、平日では「1時間から2時間程度」が 33.7%、「1時間未満」が 29.0%、「外ではほとんど遊ばない」が 25.1%である。休日では「1時間から2時間程度」が 38.0%、「1時間未満」が 22.7%、「外ではほとんど遊ばない」が 16.0%である。



3. 子育てに関する状況

(17) 子育てに関する悩みや不安の有無(問 13)

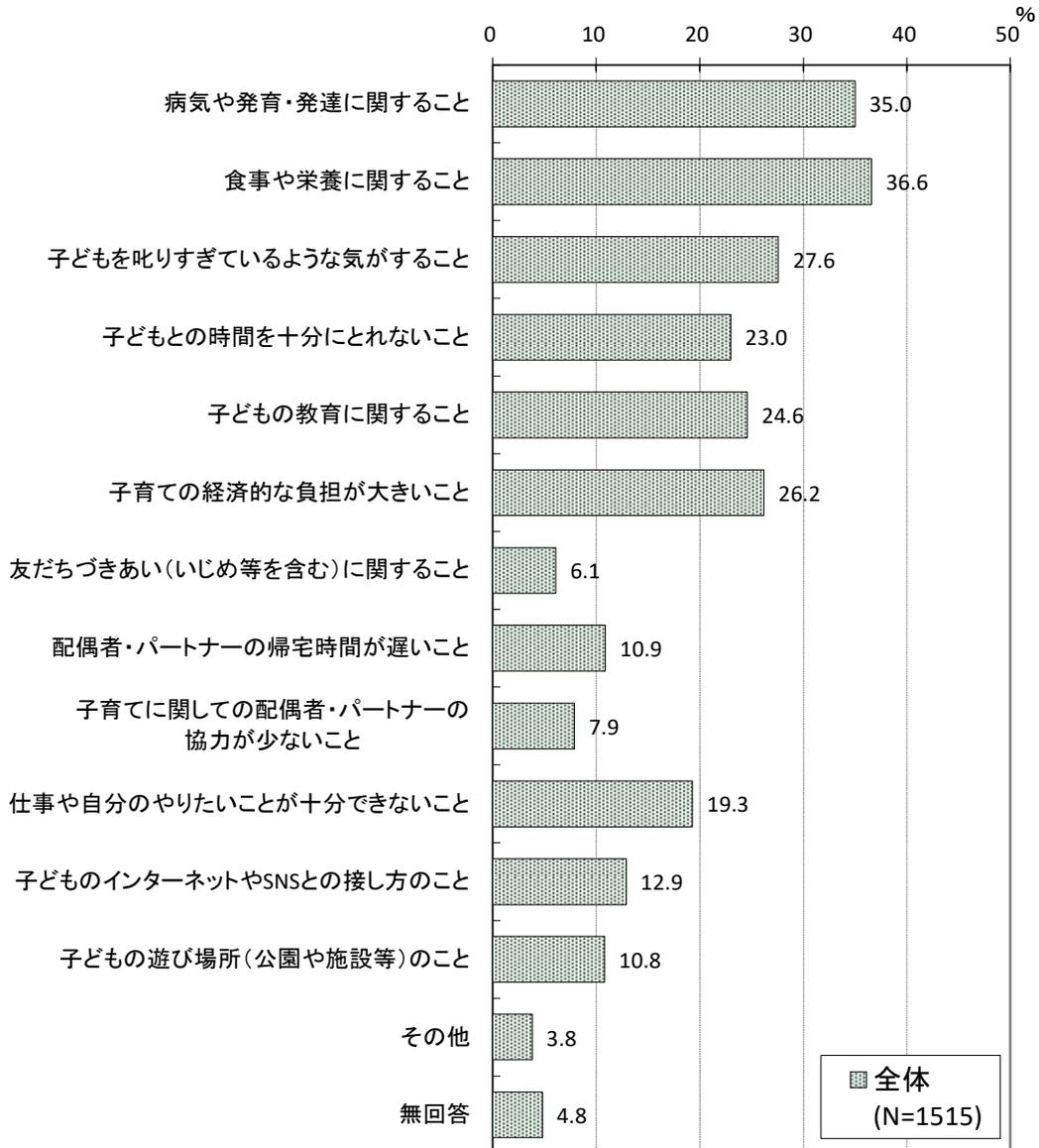
子育てに関する悩みや不安を「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『悩みや不安を感じる』割合は 50.6%で、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『悩みや不安を感じない』割合は 47.3%となっている。



(N=1515)

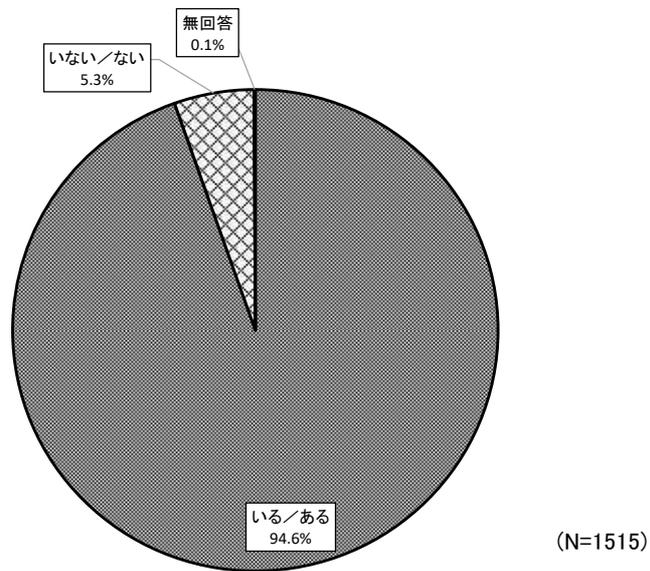
(18) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること(問 14)【複数回答】

子育てに関して悩んでいることは、「食事や栄養に関すること」が 36.6%で最も高い。次いで「病気や発育・発達に関すること」35.9%、「子どもを叱りすぎているような気がする」27.6%、「子育ての経済的な負担が大きいこと」26.2%となっている。



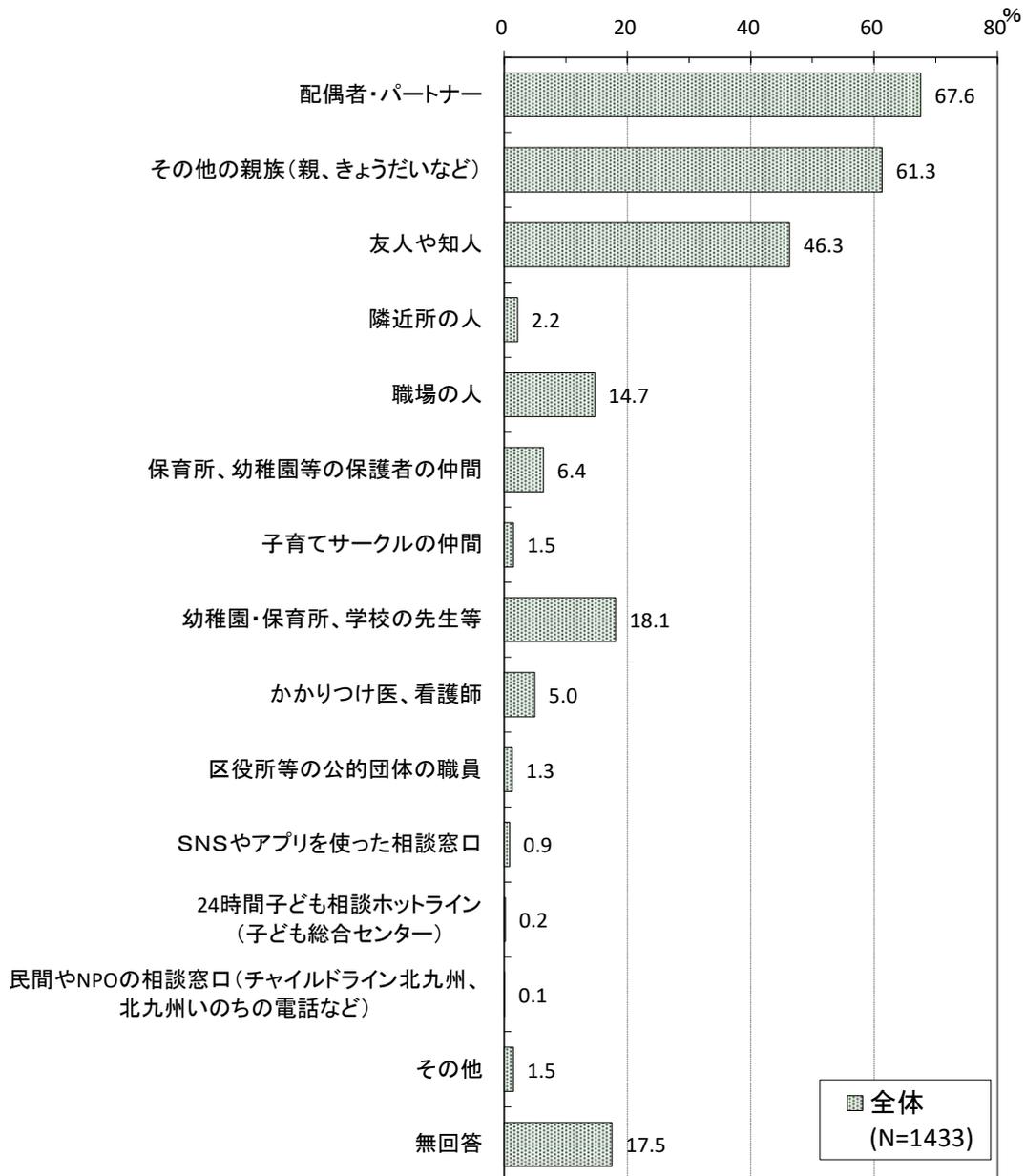
(19) 子育てをする上で気軽に相談できる人(家族を含む)(問 15)

子育てをする上で気軽に相談できる人(家族を含む)は、「いる／ある」が 94.6%、「いない／ない」が 5.3%となっている。



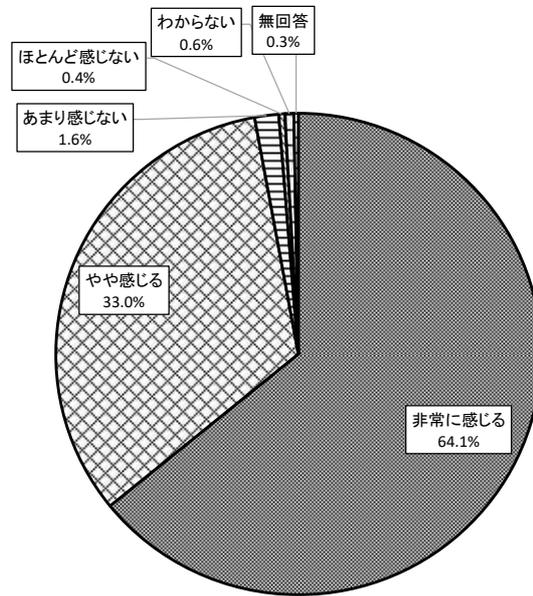
(20) 子育てに関する悩みや不安を相談する先(問 15-1)【複数回答】

子育てに関する悩みや不安を相談する先は、「配偶者・パートナー」が 67.6%で最も高く、次いで「その他の親族(親、きょうだいなど)」が 61.3%、「友人や知人」46.3%となっている。



(21) 子育てを楽しんでいるか(問 16)

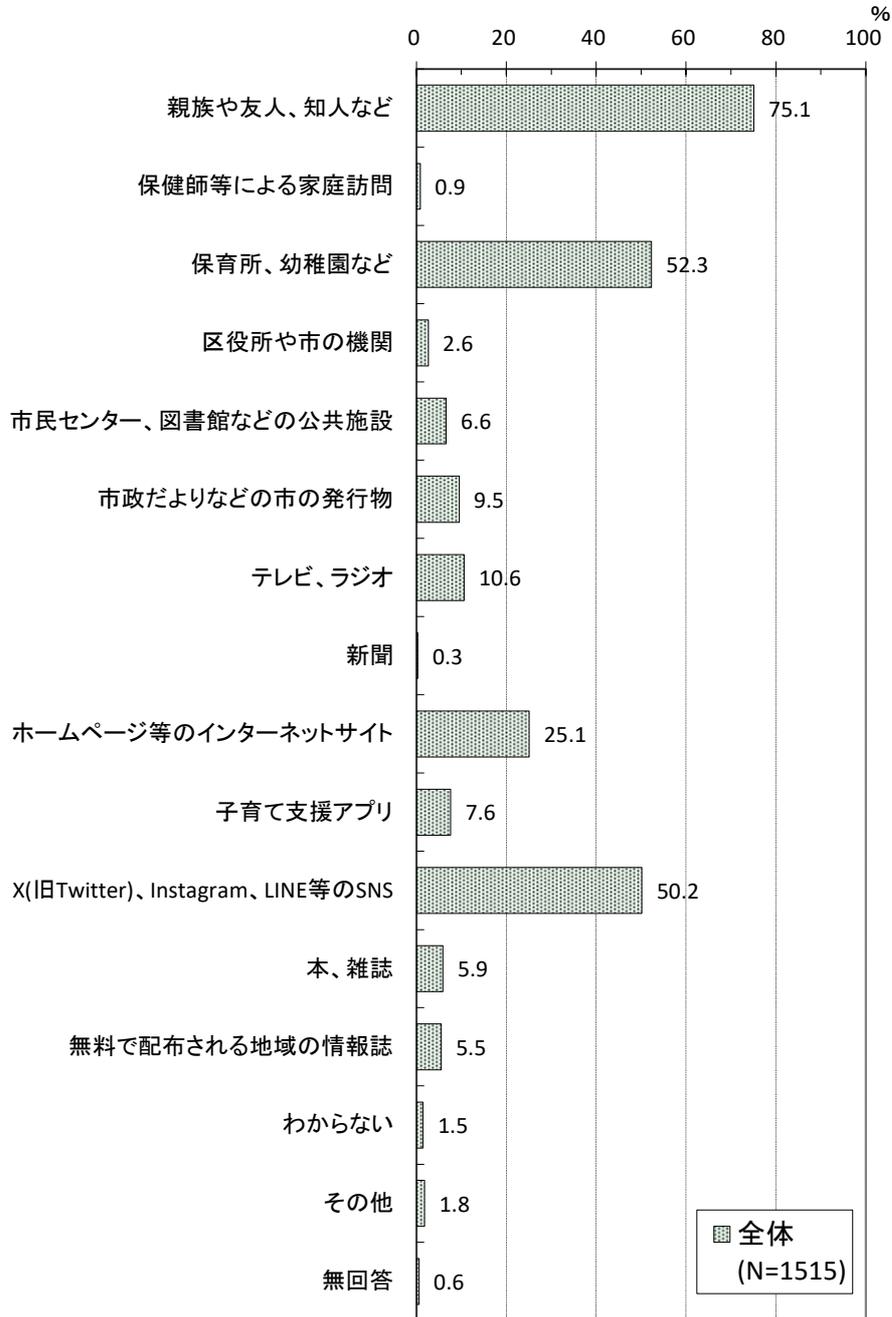
子育てを楽しんでいると「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『楽しいと感じる』割合は 97.2%で、「あまり感じない」と「ほとんど感じない」を合わせた『楽しいと感じない』割合は 2.0%となっている。



(N=1515)

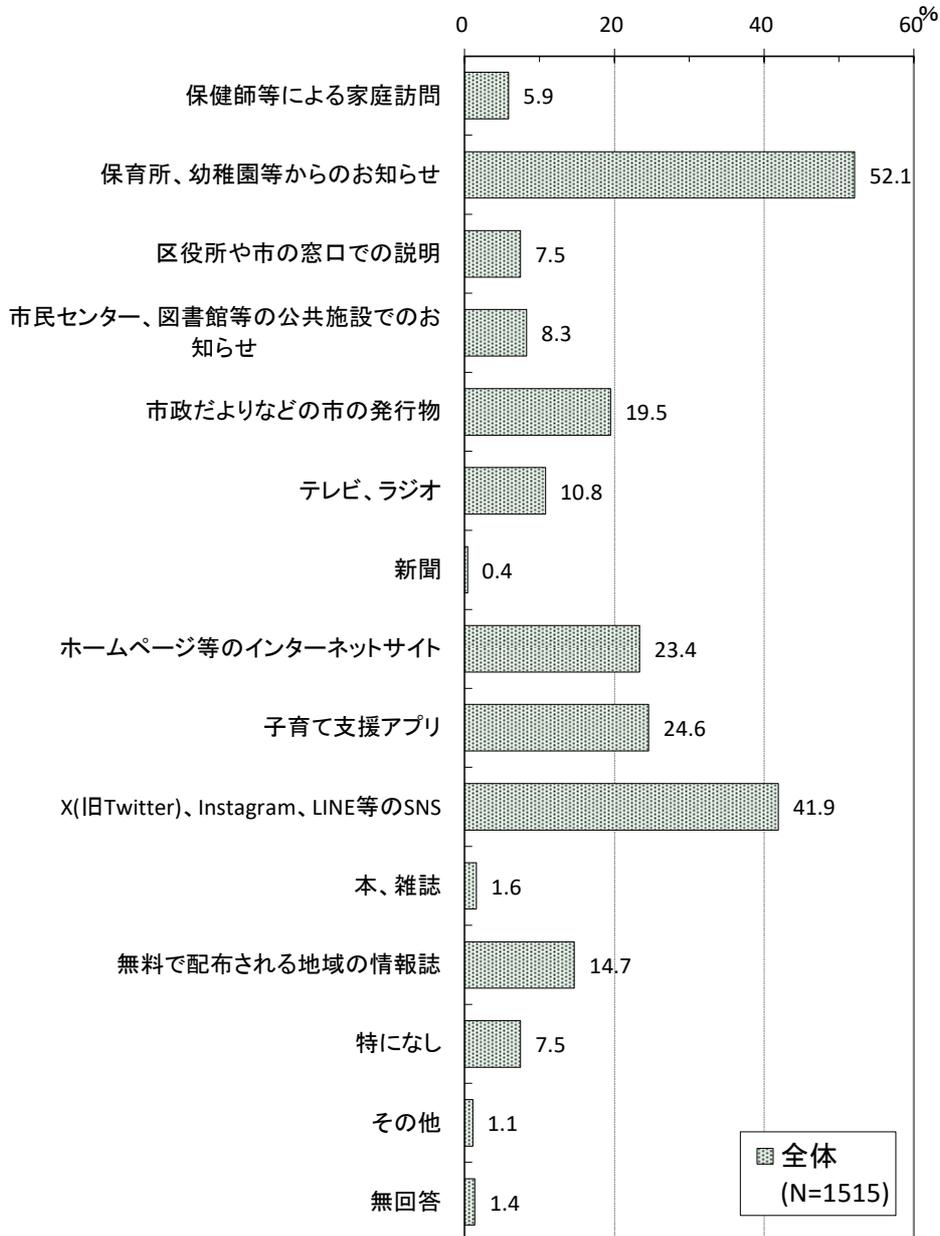
(22) 子育てに関する情報の入手先(問 17)【複数回答】

子育てに関する情報の入手先は、「親族や友人、知人など」が 75.1%で最も高く、次いで「保育所、幼稚園、認定こども園など」52.3%、「X(旧 Twitter)、Instagram、LINE 等の SNS」50.2%となっている。



(23) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信手段(場所)(問 18)【複数回答】

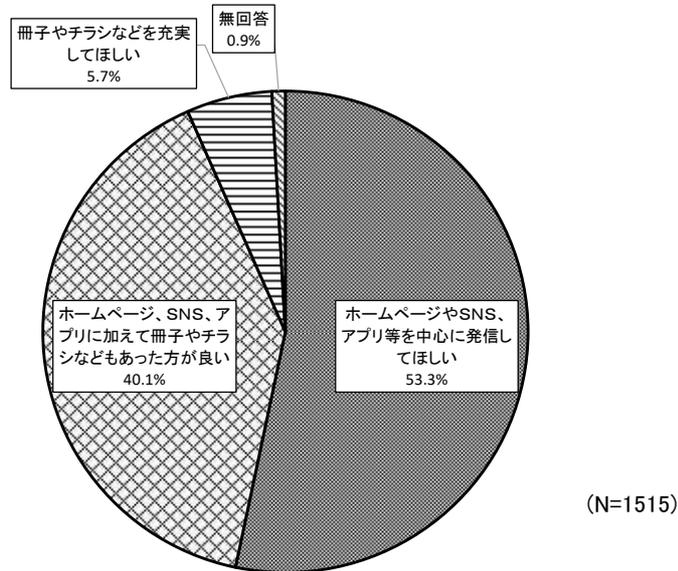
より力を入れてほしい情報発信の手段(場所)は、「保育所、幼稚園、認定こども園など」が 52.1%で最も高く、次いで「X(旧 Twitter)、Instagram、LINE 等の SNS」41.9%、「子育て支援アプリ」24.6%、「ホームページ等のインターネットサイト」23.4%となっている。



(24) 行政の子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)(問 18-1)

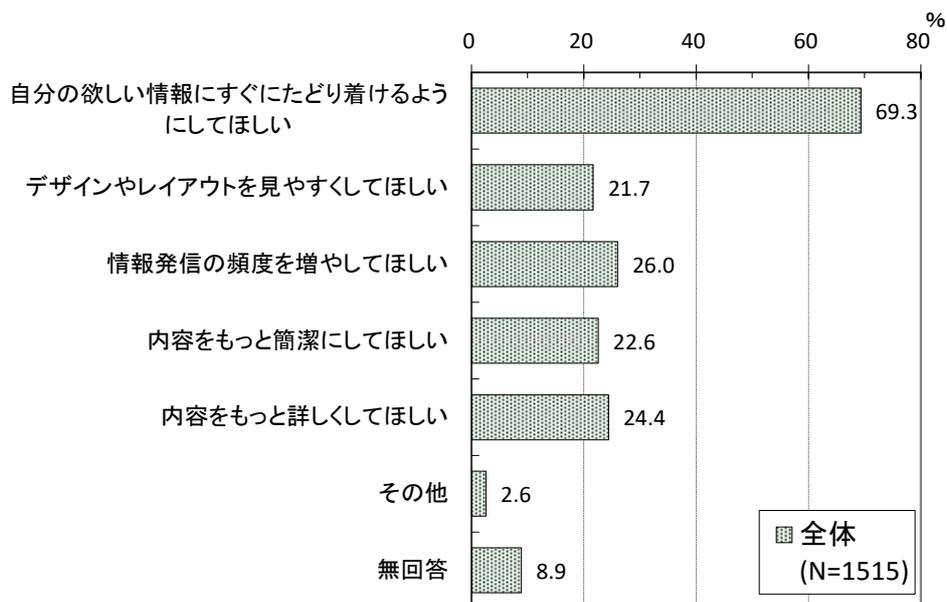
① 情報媒体(SNSや冊子等)

子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)は、「ホームページやSNS、アプリ等を中心に発信してほしい」が 53.3%、「ホームページ、SNS、アプリに加えて冊子やチラシなどもあった方がよい」40.1%、「冊子やチラシなどを充実してほしい」5.7%となっている。



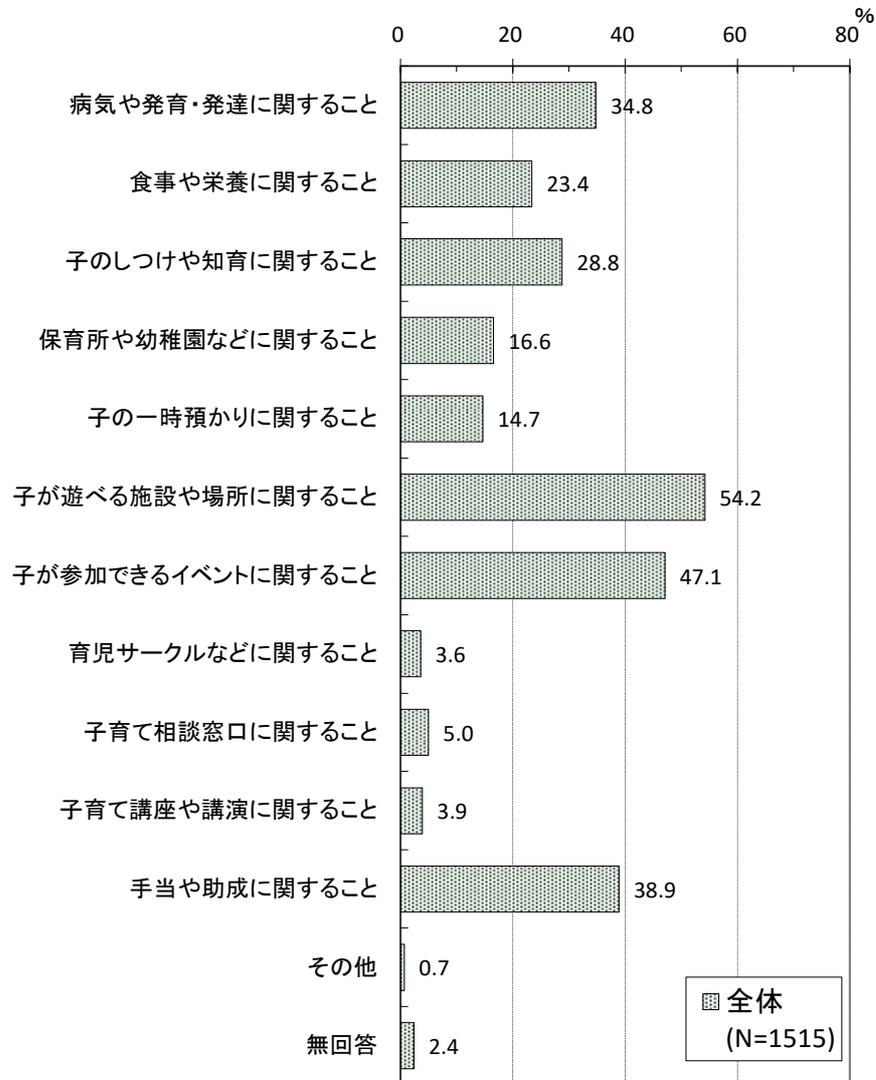
② 改善点【複数回答】

改善してほしい点は、「自分の欲しい情報にすぐにたどり着けるようにしてほしい」が 69.3%で最も高く、次いで「情報発信の頻度を増やしてほしい」26.0%、「内容をもっと詳しくしてほしい」24.4%となっている。



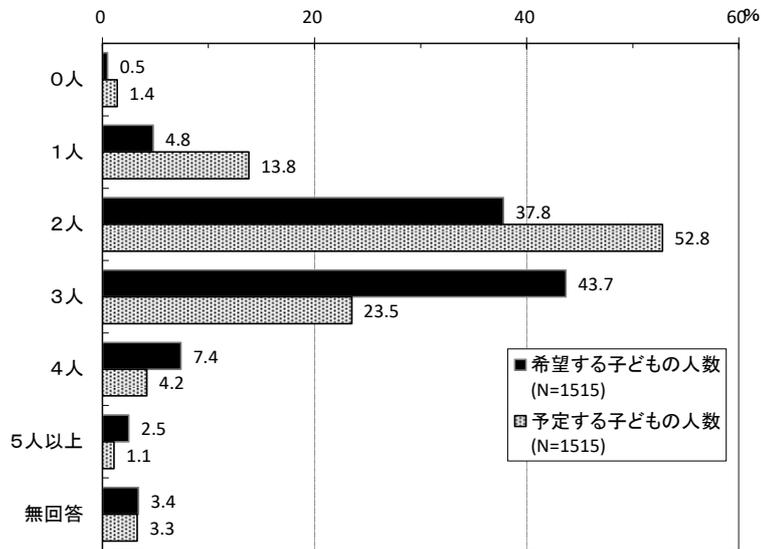
③ 知りたい情報【複数回答】

知りたい情報は、「子が遊べる施設や場所に関すること」が 54.2%、「子が参加できるイベントに関すること」47.1%、「手当や助成に関すること」38.9%、「病気や発育・発達に関すること」34.8%となっている。



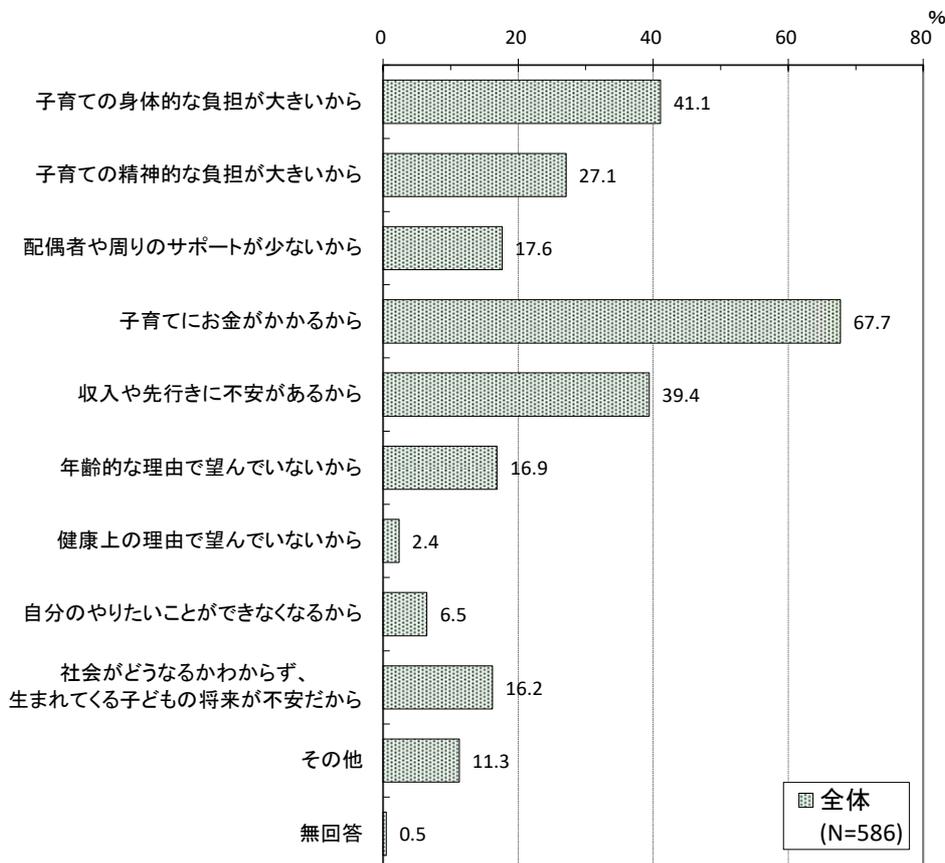
(25) 希望する子どもの人数と実際に予定している子どもの人数(問 19)

希望する子どもの人数は「3人」が43.7%で最も高く、次いで「2人」37.8%となっている。実際に予定している子どもの数は「2人」が52.8%、「3人」が23.5%となっている。



(26) 希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない理由(問 19-1)【複数回答】

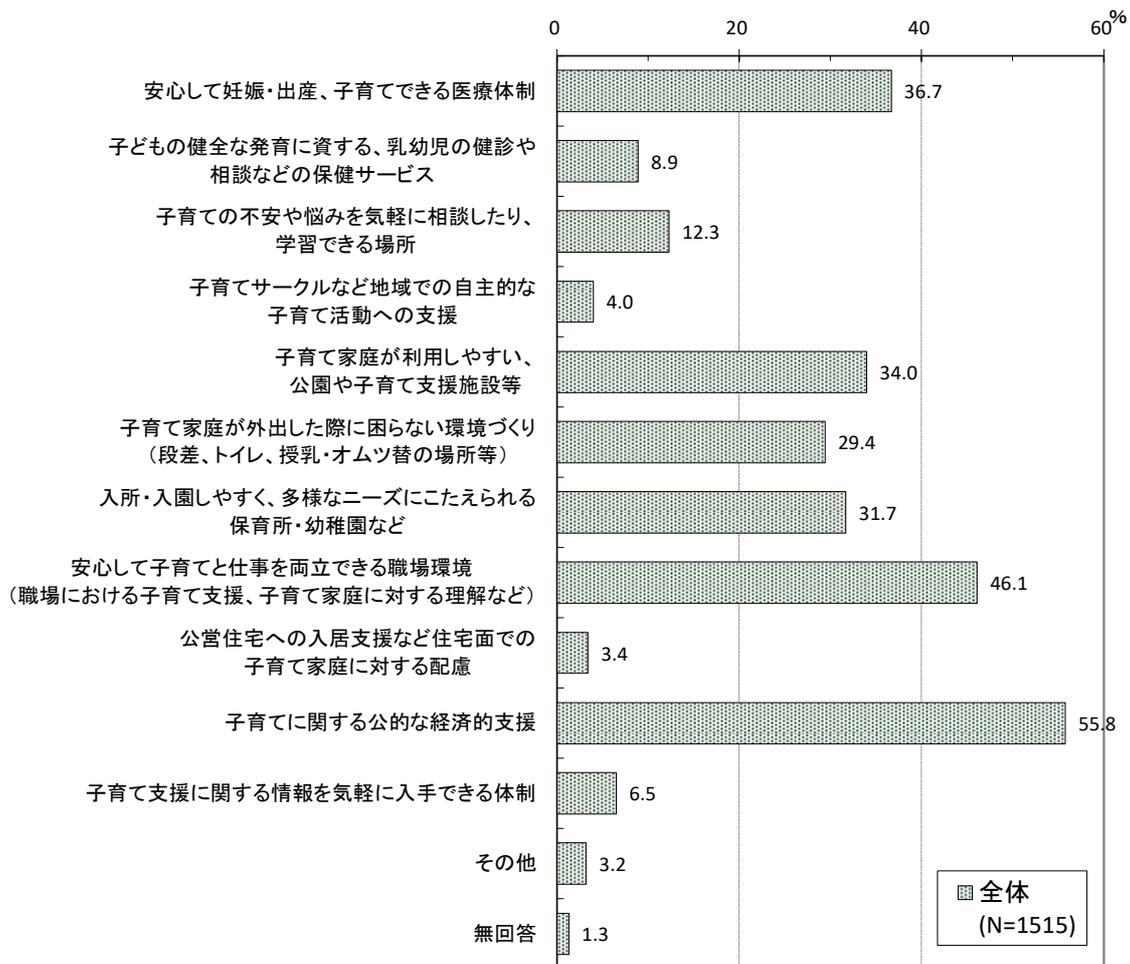
(27)で希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない人にその理由を尋ねたところ、「子育てにお金がかかるから」が67.7%で最も高く、次いで「子育ての身体的な負担が大きいから」41.1%、「収入や先行きに不安があるから」39.4%となっている。



4. 今後の北九州市の子育て支援

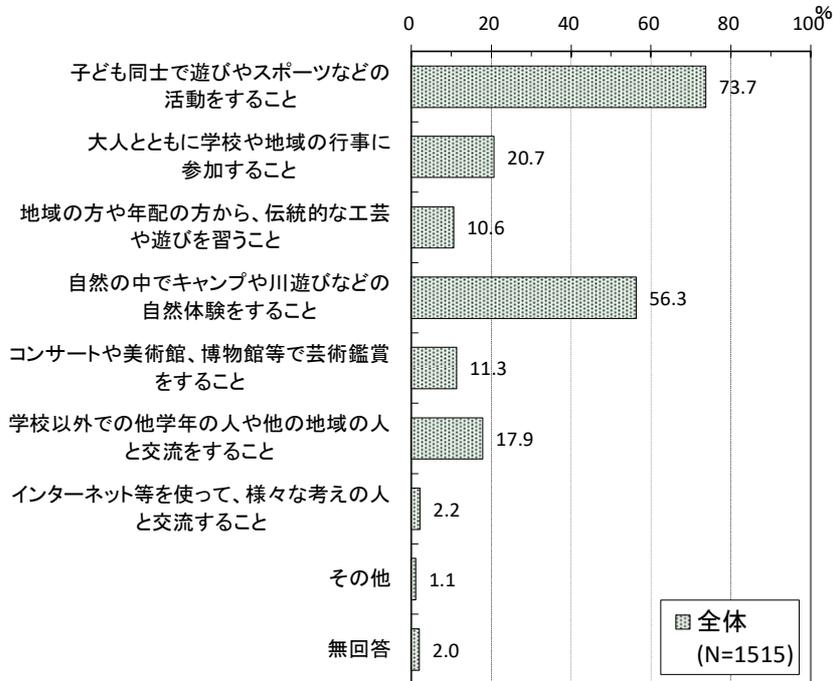
(27) より力を入れてほしい子育て支援策(問 20)【複数回答】

より力を入れてほしい子育て支援策は、「子育てに関する公的な経済的支援」が 55.8%で最も高く、次いで「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境(職場における子育て支援、子育て家庭に対する理解など)」46.1%、「安心して妊娠・出産、子育てできる医療体制」36.7%、「子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設等」34.0%、「入所・入園しやすく、多様なニーズにこたえられる保育所・幼稚園など」31.7%となっている。



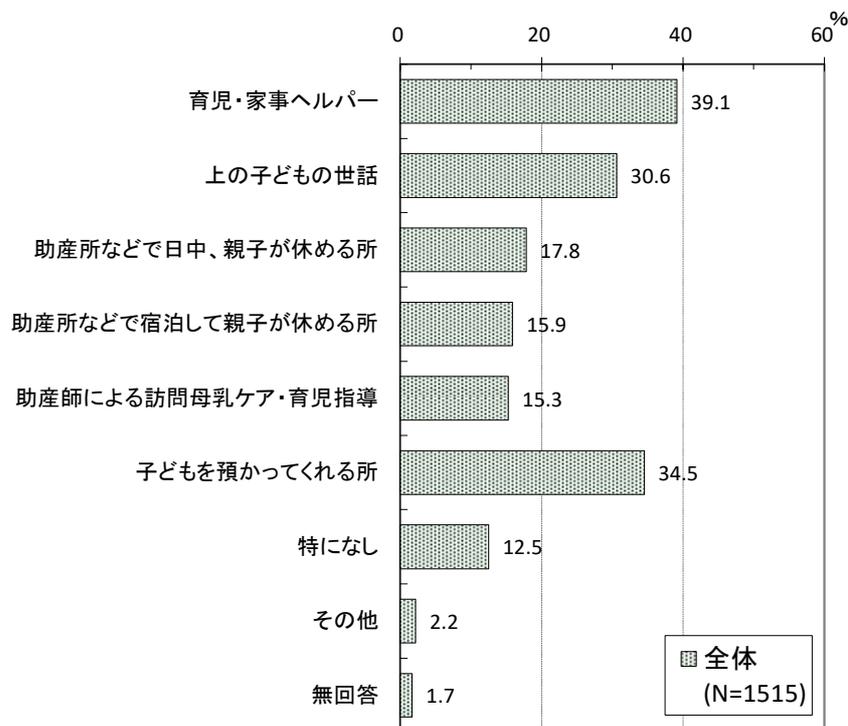
(28) 子どもが健全に成長するために必要なこと(問 20-1)【複数回答】

子どもが健全に成長するために必要なことは、「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする事」が 73.7%で最も高く、次いで「自然の中でキャンプや川遊びなどの自然体験をすること」56.3%、「大人とともに学校や地域の行事に参加すること」20.7%となっている。



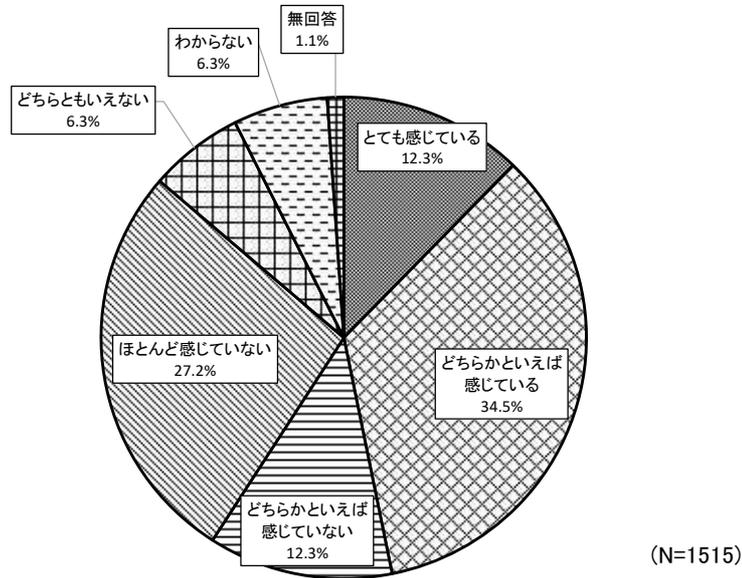
(29) 産後半年くらいの間にご利用できる育児・家事サービスで欲しいと思うもの(問 21)【複数回答】

産後半年くらいの間にご利用できる育児・家事サービスで欲しいと思うものは、「育児・家事ヘルパー」が 39.1%で最も高く、「子どもを預かってくれる所」34.5%、「上の子どもの世話」30.6%となっている。



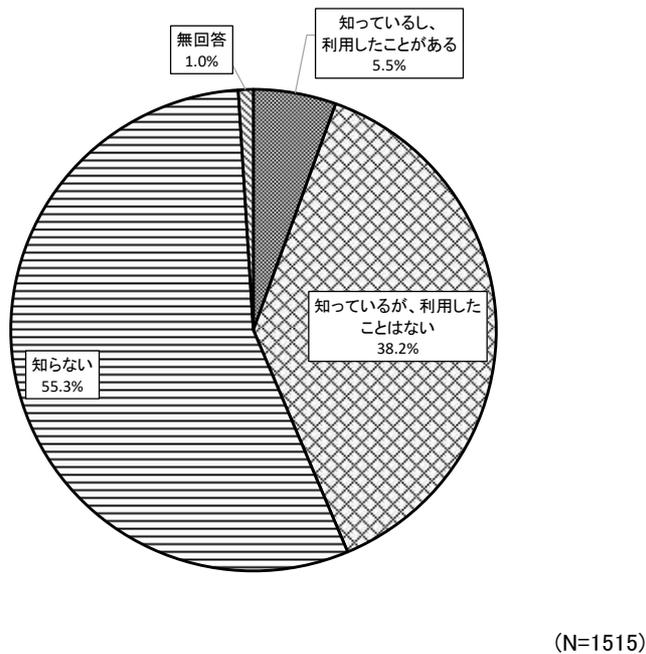
(30) 子育てが地域に支えられていると感じるか(問 22)

子育てが地域の人に支えられていると感じるかどうかが尋ねたところ、「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『支えられていると感じる』割合は 46.8%で、「どちらかといえば感じていない」と「ほとんど感じていない」を合わせた『支えられていないと感じない』割合は 39.5%となっている。



(31) ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の認知度(問 23)

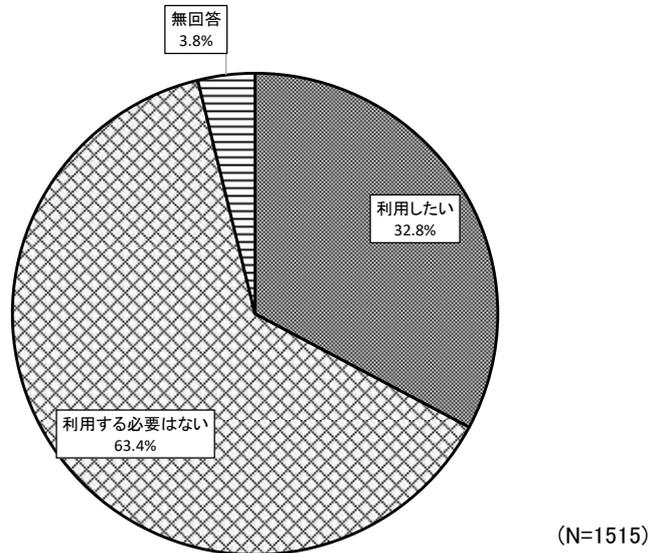
ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の認知度は「知っているし、利用したことがある」が 5.5%、「知っているが、利用したことはない」が 38.2%。「知らない」55.3%となっている。



(32) ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の利用意向(問 23-1)

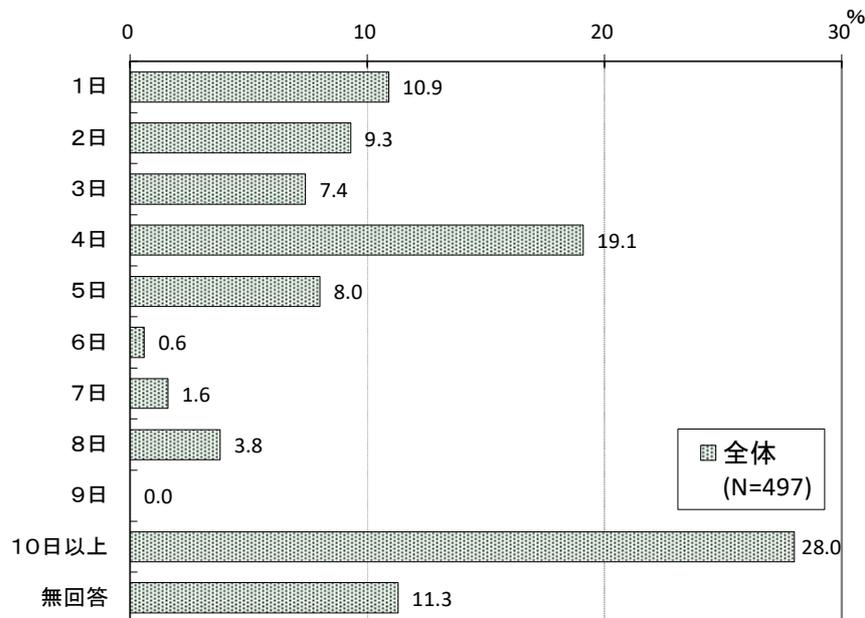
【利用意向】

ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)を「利用したい」が 32.8%、「利用する必要はない」が 63.4%である。



【利用希望日数】

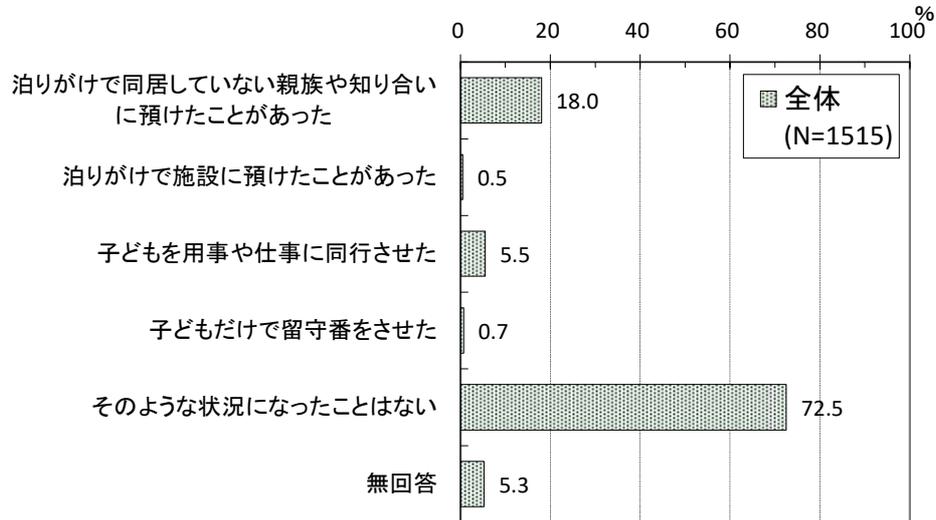
ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)を「利用したい」人の利用希望日数は「10日以上」が 28.0%で最も高く、次いで「4日」19.1%となっている。



(33) この1年間に子どもを泊りがけで預けた状況(問 24)

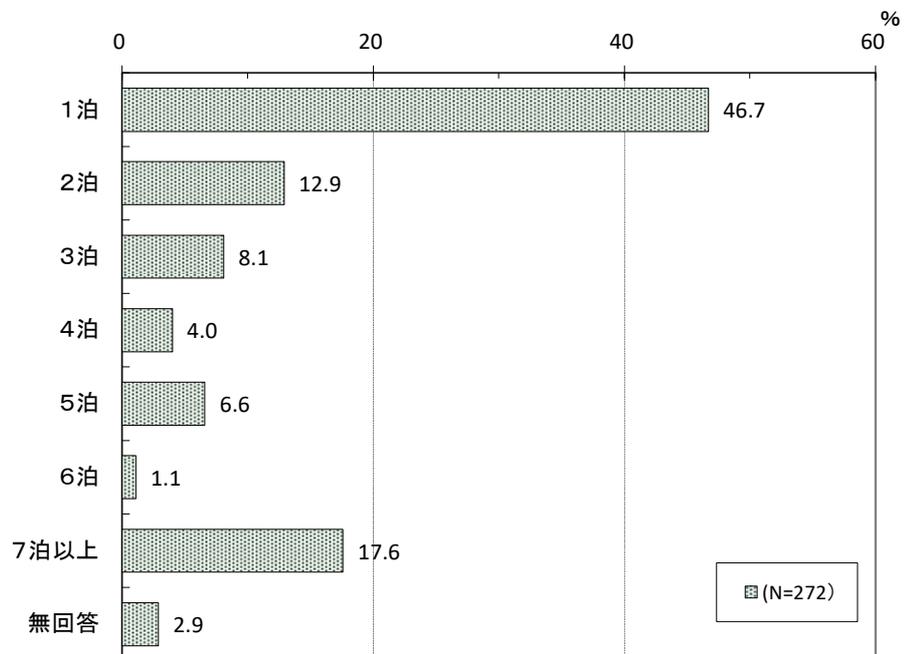
【預けた状況】

この1年間に保護者の用事や仕事、育児疲れなどで、子どもを泊りがけで預けた状況があるか尋ねたところ、「そのような状況になったことはない」が 72.5%で最も高く、次いで「泊りがけで同居していない親族や知り合いに預けたことがあった」18.0%となっている。

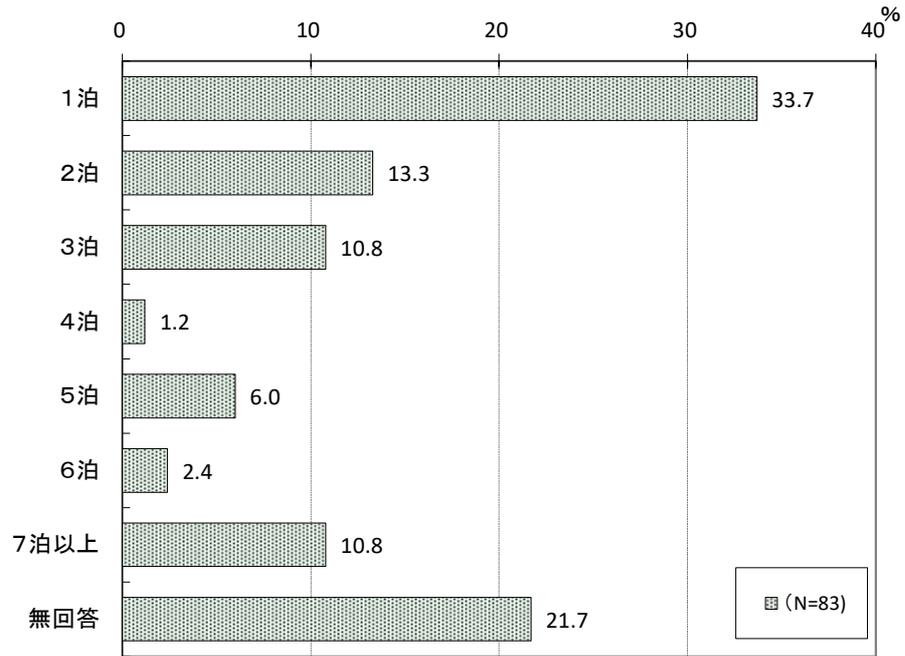


【預けた日数】

○同居していない親族・知人に預けた泊数



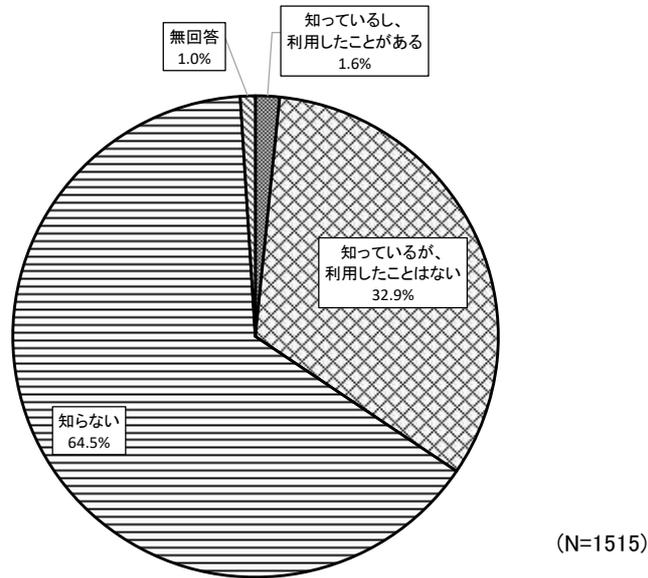
○子どもを同行させた泊数



(注)「泊まりがけで施設に預けた」「子どもだけで留守番をさせた」は回答が 10 件未満のため表示していない。

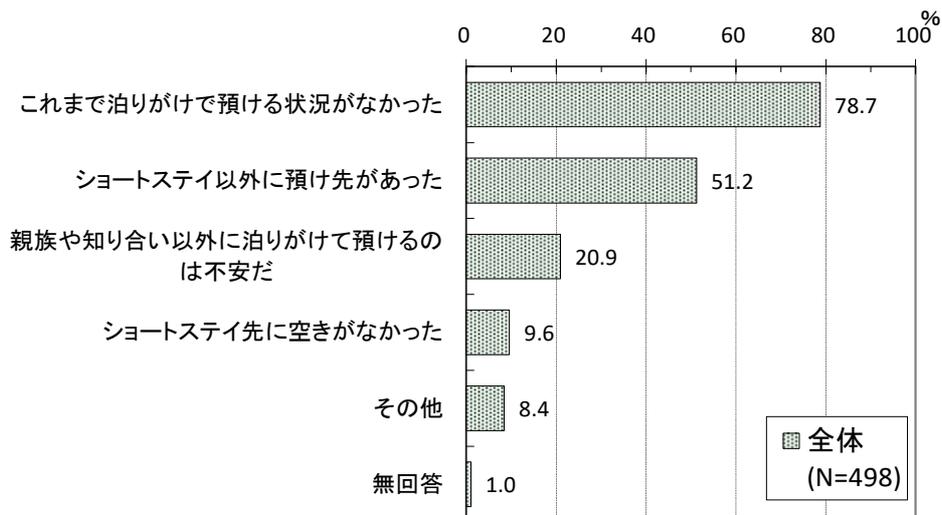
(34) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の認知度(問 24-1)

親子短期支援事業(ショートステイ事業)の認知度は「知っているし、利用したことがある」が 1.6%、「知っているが、利用したことはない」が 32.9%、「知らない」が 64.5%である。



(35) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)を利用しない理由(問 24-2)

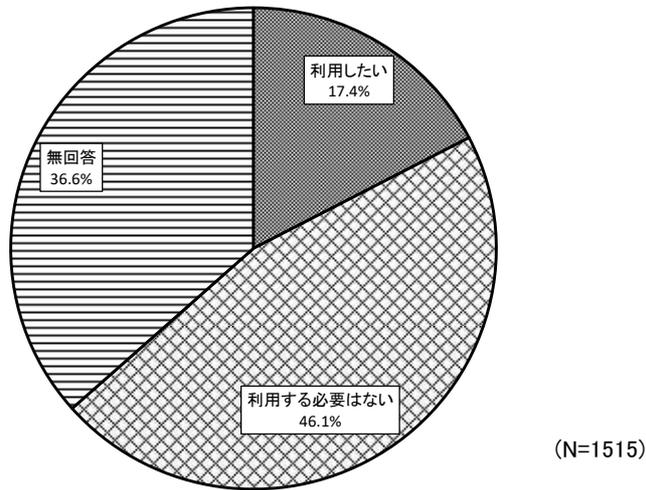
親子短期支援事業(ショートステイ事業)を「知っているが、利用したことはない」と回答した人の利用しない理由は、「これまで泊りがけで預ける状況がなかった」が 78.7%で最も高く、次いで「ショートステイ以外に預け先があった」51.2%、「親族や知り合い以外に泊りがけで預けるのは不安だ」20.9%となっている。



(36) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の利用希望(問 24-3)

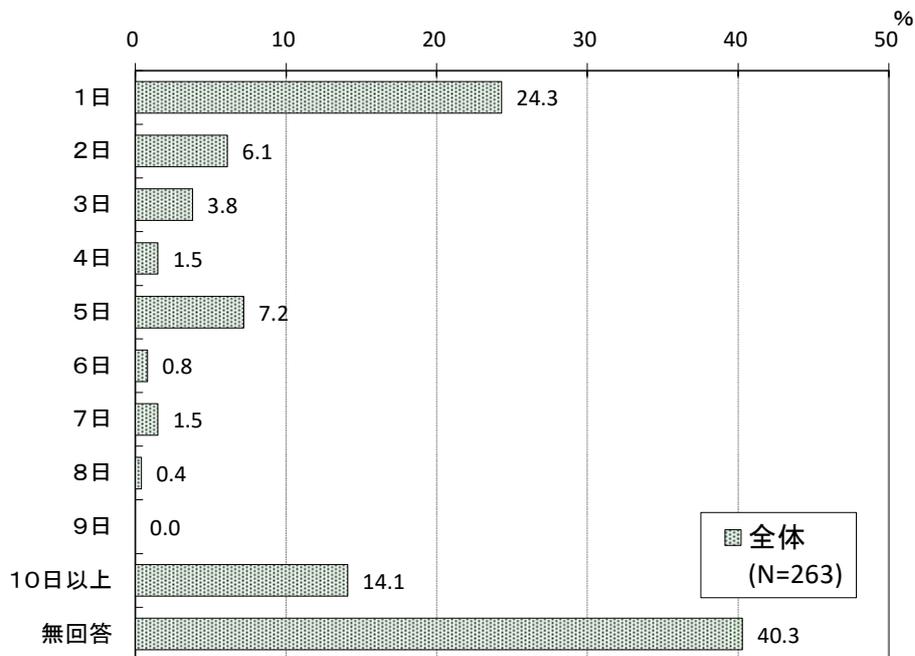
【利用希望】

親子短期支援事業(ショートステイ事業)の利用希望は「利用したい」が 17.4%、「利用する必要はない」が 46.1%である。



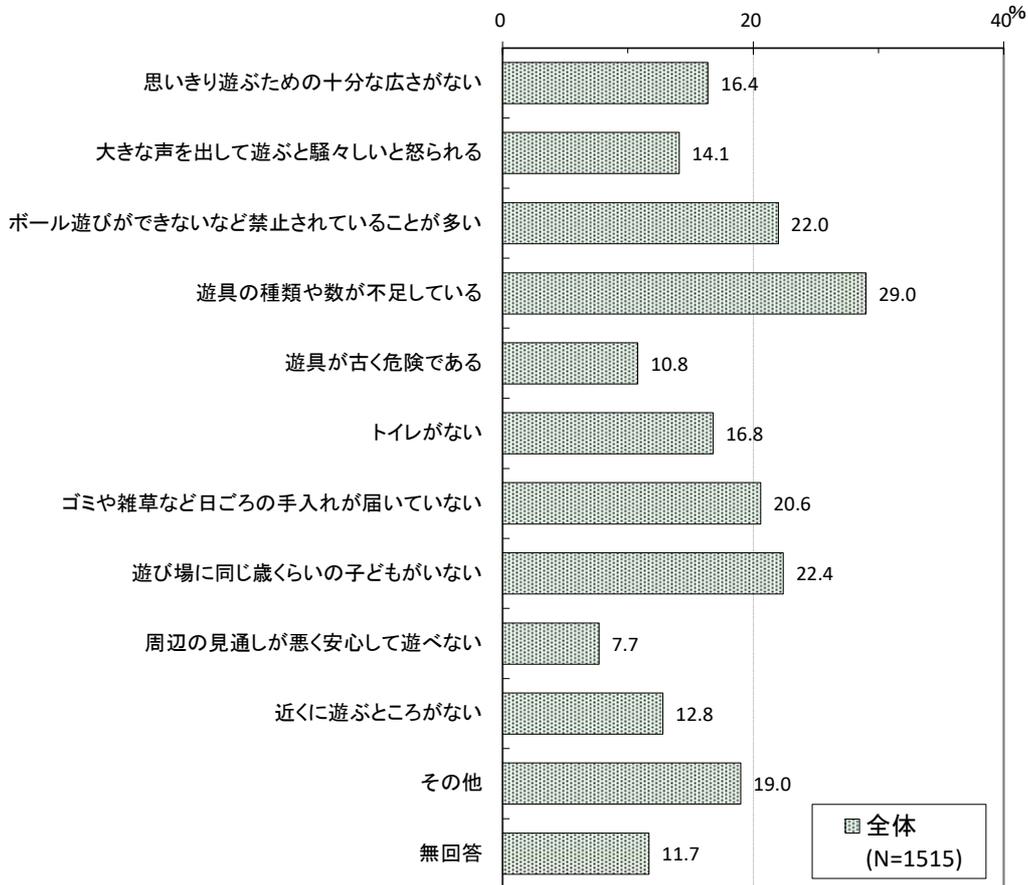
【利用希望日数】

利用したいと回答した人の利用希望日数は「1日」が 24.3%で最も高く、次いで「10日以上」14.1%、「5日」7.2%、「2日」6.1%となっている。



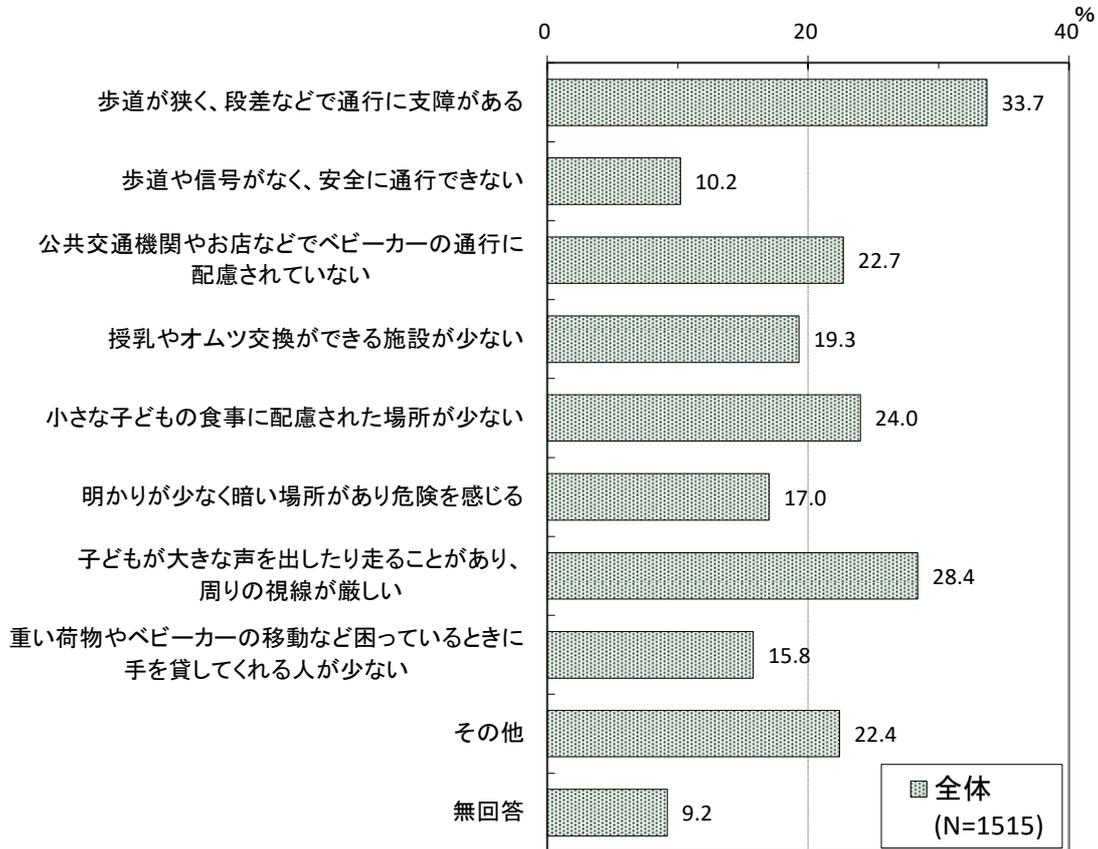
(37) 子どもの遊び場(特に近所)について日ごろ感じること(問 25)

子どもの遊び場(特に近所)について日ごろ感じることは、「遊具の種類や数が不足している」が29.0%で最も高く、次いで「遊び場に同じ歳くらいの子どもがいない」22.4%、「ボール遊びができないなど禁止されていることが多い」22.0%、「ゴミや雑草など日ごろの手入れが届いていない」20.6%となっている。



(38) 子どもと外出する際の困りごと(問 26)

子どもと外出する際の困りごとは、「歩道が狭く、段差などで通行に支障がある」が 33.7%で最も高く、次いで「子どもが大きな声を出したり走ることがあり、周りの視線が厳しい」28.4%、「小さな子どもの食事に配慮された場所が少ない」24.0%、「公共交通機関やお店などでベビーカーの通行に配慮されていない」22.7%となっている。



(39) 「共育て」の推進に必要なこと(問 27)【複数回答】

男女がともに子育てをしていく「共育て」の推進に必要なことは「労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度を普及させること」が 42.7%で最も高く、次いで「夫婦の間で十分に話し合い、家事などを分担すること」39.7%、「育児に関連する休暇・休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること」29.0%となっている。

